

木更津市 絵馬 修復・復元

木更津市個人所有 絵馬の修復および復元



修復前



修復後



斜光写真とトレース

千葉県木更津市の個人宅の敷地内に、地域の方々が子供のころから親しんで来られた小さなお堂があります。そこに掛けられていた幅60センチほどの絵馬には「猿、虎、蛇」が描かれていたと伝えられていました。その所蔵者の方の強いご希望で今回絵馬の復元をさせていただくことになりました。

通常古い絵馬は経年劣化により絵の具や墨の色が落ち、板自体も痩せていきますが、墨に含まれていた膠分が表面を保護するためそこだけは痩せずに凸線となって残ります。それが斜光によって見えるようになったので、社内に持ち帰り、暗室での斜光写真と赤外線写真を撮影し、実物と等倍の写真にフィルムを載せてトレースを行いました。非常に根気の要る作業でしたが、やがて図像がほぼ見えるようになります、この絵馬が平家物語にて判りました。

平家物語に登場する「鶴退治」の場面を描いた 絵馬の修復・復元

何も無いと思っていた板の上に図像が浮かび上がりました。

文化財の保存と複製

ニユースレター

VOL. 17 / July

2010年7月

また、画面の隅に銘らしきものも確認されました。

所蔵者の方は初め、原資料の板の上に絵を復元することを望んでいらっしやいました。が、作業が進むにつれ非常に貴重な資料である可能性が高まりましたので、新しく用意した板の上に復元を行い、原資料は材質強化の処置後、保存箱内で保管することとなりました。

最後に安易な復元を避け、十分な調査と資料の現状維持についてご理解をいただきました所蔵者の矢野様に深く感謝の意を表したいと思います。そしてこの絵馬が地域の皆様の誇れる文化財として未永く受け継がれていくことを願っております。

■記

京都科学・製造二課 和久田優子

